様式第８号(第10条関係)

景観計画区域内変更行為届出書

|  |
| --- |
| 年　　　月　　　日宇多津町長　殿住所　　　　　　　　　　　　　届出者　　氏名　　　　　　　　　　　　　電話　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人その他の団体にあっては、その主たる事務所の　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。　景観法第16条第２項の規定による届出について、次のとおり届け出ます。 |
| 既存届出 | 届出日 | 　　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| 適合通知書 | 番号 | 　　　　　　　　　　　第　　　　号 |
| 通知日 | 　　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| 行為の種類 | □　建築物 | □ 新築　□ 増築　□ 改築　□ 移転　□ 外観の変更　 |
| □　工作物 | □ 新築　□ 増築　□ 改築　□ 移転　□ 外観の変更　 |
| □　開発行為 |
| □　土地の開墾、土石の採取、鉱物の採取その他の土地の形質の変更 |
| 行為の場所 | 宇多津町　　　　　　　　　　　　　　番地 |
| 景観形成重点区域　　　□ 区域内　　　□ 区域外 |
| 変更の概要 |  |
| 変更の理由 |  |
| ※受付欄 |  | ※処理欄 |  |

備考　１　該当する項目の□内に✓印を付けてください。

　　　２　条例施行規則別表第１に定める図書のうち、当該変更の内容を明らかにする図書を添付してください。

　　　３　別紙１、別紙２又は別紙３を行為の種類に応じて添付してください。

　　　４　チェックシート１又はチェックシート２を行為の場所に応じて添付してください。

　　　５　※印の欄は、記入しないでください。

別紙１（建築物）

|  |  |
| --- | --- |
| 行為の種類 | □新築　□増築　□改築　□移転　□外観の変更　 |
| 建物用途 |  |
| 最高の高さ | 　　　　　　　　　　　　　ｍ（屋上に設置する建築設備を含む最高の高さ　　　　ｍ） |
| 階数 | 地上　　　　階　　　　　地下　　　　階 |
| 構造 | 　　　　　　　　　　　造　　　　　　一部　　　　　　　　造　 |
|  | 届出部分 | 既存部分 | 合計 |
| 敷地面積 | 　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　㎡ |
| 建築面積 | 　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　㎡ |
| 延べ面積 | 　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　㎡ |
| 外観面積 | 　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　㎡ |
| 屋根 | 仕上方法 |  | （色彩見本貼付欄） |
| ※色彩 |  |
| 外壁 | 仕上方法 |  | （色彩見本貼付欄） |
| ※色彩 |  |
| 屋上に設置する建築設備 | □ 換気　□ 排煙　□ 非常用照明　□ 昇降機　□ 消火□ 給排水　□ 避雷　□ その他（　　　　　　　　　　）高さ　　　　　　　　　　ｍ |
| 緑化の措置 |  |
| 備考 |  |

備考　１　この書面は、棟ごとに作成してください。

　　　２　該当する項目の□内に✓印を付けてください。

　　　３　「外観面積」欄は、外観の変更の場合に、変更する立面の鉛直投影立面積（建物を真横からみた面積）を記入してください。

　　　４　※印欄は、マンセル値を記入してください。

　　　５　「緑化の措置」欄は、敷地内の樹木の樹種、本数、既存の樹木の有無及び保全措置を記入してください。

　　　６　記入欄のスペースが足りない場合は、「別紙のとおり」と記載のうえ別紙を添付してください。

別紙２（工作物）

|  |  |
| --- | --- |
| 行為の種類 | □新築　□増築　□改築　□移転　□外観の変更　 |
| 工作物の種類 |  |
| 最高の高さ | 工作物の高さ（　　　　　　ｍ）　　地上からの高さ（　　　　　　ｍ） |
| 構造 |  |
| 敷地面積 | 　　　　　　　　　　　　　　　　㎡ |
|  | 届出部分 | 既存部分 | 合計 |
| 築造面積 | 　　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　　㎡ |
| 外観面積 | 　　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　　㎡ | 　　　　　　　　　㎡ |
| 長さ | 　　　　　　　　　ｍ | 　　　　　　　　　ｍ | 　　　　　　　　　ｍ |
| 工作物 | 仕上方法 |  | （色彩見本貼付欄） |
| ※色彩 |  |
| 仕上方法 |  | （色彩見本貼付欄） |
| ※色彩 |  |
| 緑化の措置 |  |
| 備考 |  |

備考　１　この書面は、工作物ごとに作成してください。

　　　２　該当する項目の□内に✓印を付けてください。

　　　３　「工作物の種類」欄は、条例施行規則第２条の種類を記載してください。

　　　４　「外観面積」欄は、外観の変更の場合に、変更する立面の鉛直投影立面積（工作物を真横からみた面積）を記入してください。

　　　５　条例施行規則第２条第13号に掲げる工作物（塀、さく、垣（生け垣を除く。）、擁壁その他これらに類するもの）の場合は、「長さ」の欄を記入してください。

　　　６　※印欄は、マンセル値を記入してください。

　　　７　「緑化の措置」欄は、敷地内の樹木の樹種、本数、既存の樹木の有無及び保全措置を記入してください。

　　　８　記入欄のスペースが足りない場合は、「別紙のとおり」と記載のうえ別紙を添付してください。

別紙３（開発行為、土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更）

|  |  |
| --- | --- |
| 区域面積 | 　　　　　　　　　　　　　　　　㎡ |
| 行為地の土地利用現況 |  |
| 隣接地の土地利用現況 |  |
| 隣接地との土地高低差 | 　□　有　　　　□　無 |
| 最低高低差 | 　　　　　　ｍ | 最高高低差 | 　　　　　　ｍ |
| 土地高低差処理方法 | 　□　擁壁　　　□　法面 |
|  | 高さ | 長さ | 勾配 |
| 法面又は擁壁 | 　　　　　　　　ｍ | 　　　　　　　　ｍ | 　　　　：　　　 |
| 法面又は擁壁の仕上方法 |  |
| 既存木竹の有無 | 　□　有　　　　　□　無 |
| 既存木竹の処理方法 |  |
| 緑化の措置 |  |
| 備考 |  |

備考　１　該当する項目の□内に✓印を付けてください。

　　　２　「隣接地との土地高低差」欄は、行為地が隣接地より低い場合は「（－）マイナス」表示、高い場合は「（＋）プラス」表示で高さの差を記入してください。

　　　３　「法面又は擁壁の仕上方法」欄は、種子吹き付け・石積擁壁など具体的に記入してください。

　　　４　「既存の木竹の処理方法」欄は、処分や保全措置の内容を具体的に記入してください。

　　　５　「緑化の措置」欄は、敷地内の樹木の樹種、本数を記入してください。

　　　６　記入欄のスペースが足りない場合は、「別紙のとおり」と記載のうえ別紙を添付してください。